



取扱説明書

WAZA Tube Amp Expander Core

技 WAZA CRAFT

 Bluetooth®

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

本機を正しくお使いいただくために、ご使用前に「安全上のご注意」と「使用上のご注意」（『安全上のご注意』チラシと取扱説明書（P.2））をよくお読みください。お読みになったあとは、すぐに見られるところに保管しておいてください。

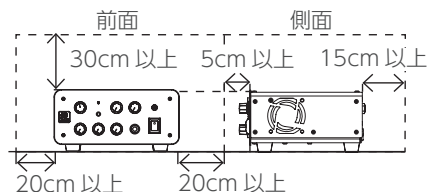
© 2024 Roland Corporation

安全上のご注意

警告

スペースを確保して設置する

本機は多少発熱するため、下記のスペースを確保して使用してください。



付属の AC アダプターを AC100V で使用する

AC アダプターは、必ず付属のものを、AC100V の電源で使用してください。



警告

付属の電源コードを使用する

電源コードは、必ず付属のものを使用してください。また、付属の電源コードを他の製品に使用しないでください。



電源コードのアースを確実に取り付ける

電源コードのアースを確実に取り付けてください。感電の恐れがあります (P.7)。



注意

小さな部品はお子様の手の届かないところに置く

下記の部品はお子様が悪く飲み込んだりすることのないよう手の届かないところへ保管してください。



- 取りはずしが可能な部品
BT-DUAL COVER (P.9)
BT-DUAL ネジ (P.9)
ジャック・キャップ (P.3)

接地端子の取り扱いに注意する

接地端子ネジは、お子様が誤って飲み込んだりすることのないよう取りはずした状態で放置しないでください。再度ネジを取り付ける際は、緩んではずれないように確実に取り付けてください。



使用上のご注意

電源について

- AC アダプターは、文字が表示された面が下になるように設置してください。

設置について

- 設置条件 (設置面の材質、温度など) によっては、本機のゴム足が設置した台などの表面を変色または変質させることがあります。

修理について

- 修理を依頼されるときは、事前に記憶内容をバックアップするか、メモしておいてください。修理するときには記憶内容の保存に細心の注意を払っておりますが、メモリー部の故障などで記憶内容が復元できない場合もあります。失われた記憶内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。
- 当社では、本機の補修用性能部品 (製品の機能を維持するために必要な部品) を、製造打切後 6 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。なお、保有期間を過ぎたあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店、または当社サポート窓口にご相談ください。

その他の注意について

- 記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などによって失われることがあります。失っても困らないように、大切な記憶内容はバックアップするか、メモしておいてください。
- 失われた記憶内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。
- 抵抗入りの接続ケーブルは使用しないでください。

知的財産権について

- 文中記載の会社名および製品名などは、各社の登録商標または商標です。
- Roland、BOSS、Tube Logic、技、WAZA は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商標または商標です。
- ASIO は、Steinberg Media Technologies GmbH の商標およびソフトウェアです。
- **Bluetooth®** のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、ローランドはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- BT-DUAL (品番) を接続することで、下記機能が追加されます。
Bluetooth Audio によるバックギング再生機能
Bluetooth MIDI によるエディター機能
- 本製品は、T-Engine フォーラム (www.tron.org) の T-License 2.0 に基づき μ T-Kernel ソースコードを利用しています。
- 本製品には、第三者のオープンソースソフトウェアが含まれています。
Copyright © 2009-2018 Arm Limited.
All rights reserved.
Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License");
You may obtain a copy of the License at <http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

重要：接続に関する注意

チューブ・アンプはスピーカー出力に何も接続しない状態で使用すると、真空管に大きなダメージを与え、故障する可能性があります。接続に関する注意は非常に重要です。お客様の大切なチューブ・アンプ、スピーカー、本機、その他の機器を破損から守るために、本項を必ず読んでください。

チューブ・アンプやスピーカー、その他の機器は必ず正しく接続／操作してください。接続／操作を間違えると、本機と接続した機器を故障させる可能性があります。間違った接続／操作による本機と接続した機器の故障について、当社は一切の責任を負いません。

接続する／接続をはずすときは必ず電源を切る

- 他の機器と接続する／接続をはずすときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。
- チューブ・アンプのスピーカー・ケーブルは、必ず FROM TUBE AMP 端子に接続してください。その他の端子へは絶対に接続しないでください。間違えて接続すると、本機やチューブ・アンプが故障する可能性があります。



- チューブ・アンプのスピーカー出力に何も接続しない状態で、チューブ・アンプの電源を入れないでください。
- スピーカー・ケーブルは端子にしっかりと差し込んでください。無接続や端子への差し込みが不完全な場合、チューブ・アンプの出力が無負荷状態になり、チューブ・アンプを故障させる可能性があります。

チューブ・アンプの出力

- 本機は最大 100W までのチューブ・アンプを接続できます。
- 100W を超える出力のチューブ・アンプで使用すると本機の故障の原因になりますので、接続しないでください。

チューブ・アンプのボリューム設定

- 本機はチューブ・アンプの音のキャラクターやフィーリングを保ったまま音量を小さくして楽しむために、チューブ・アンプのボリュームを上げすぎてチューブ・アンプに過大な負荷をかけた状態で使ってしまう可能性があります。チューブ・アンプのボリュームは適切に設定してください。特にボリュームを上げすぎて発振を起こすと、チューブ・アンプを故障させる可能性があります。

スピーカー・ケーブル

- チューブ・アンプと本機、本機とスピーカーを接続するケーブルには、必ずスピーカー・ケーブルをお使いください。ギター用のシールド・ケーブルは使わないでください。本機の故障やケーブルの発煙・発火の原因になります。

スピーカーの許容入力

- 本機に内蔵しているパワー・アンプの出力は 30W です。接続するスピーカーの許容入力は 30W 以上で使ってください。
- 30W 以下のチューブ・アンプのスピーカーを使う場合は、そのチューブ・アンプ単体で直接スピーカーを鳴らしたときと同じ音量以下で必ず使用してください。

インピーダンスの設定

- 接続するチューブ・アンプのスピーカー出力端子は、8 Ω に適合する設定にしてください。

電源を切るとき

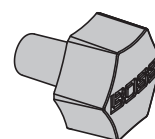
- 本機の電源を切るときは必ずチューブ・アンプの電源も切ってください。本機の電源が切れた状態でチューブ・アンプの電源が入っていると、本機とチューブ・アンプを故障させる可能性があります。

ジャック・キャップの使いかた

- 誤接続防止のため、リア・パネルの一部の端子にジャック・キャップが取り付けられています。端子に何も接続しないときは、必ずジャック・キャップを取り付けてからお使いください。



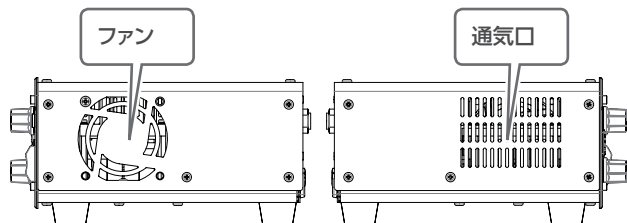
ジャック・キャップ



- 取りはずしたジャック・キャップは、お子様が誤って飲み込んだりすることのないよう手の届かないところへ保管してください。

放熱／オーバーヒート・プロテクションについて

- 本機は内部の温度が上昇するとファンが作動します。本機の両側面にある冷却用の通気口を塞がないでください。



- 通気口には、ほこりがたまりやすくなります。たまったほこりは取り除いてください。

オーバーヒート・プロテクション

- 本機は内部の温度が上がりすぎるとオーバーヒート・プロテクションが作動し、POWER インジケーターが黄点滅になって本機の出力音量を制限します。



- オーバーヒート・プロテクションが作動した場合は、チューブ・アンプの音量を下げてください。また、通気口が塞がれていないか確認してください。
- 内部の温度が下がると、オーバーヒート・プロテクションは解除されます。
- なんらかの原因で内部温度がさらに高くなると、POWER インジケーターが黄点滅から赤点滅に変わり、本機の出力をカットします。直ちに本機の電源を切り、ファンに異物がはさまっていないかなどを確認してください。異常を取り除いても直らない場合は、本機の故障の可能性があります。お買い求めの販売店に相談してください。

各部の名称とはたらき

フロント・パネル



1 [REACTIVE LOAD] つまみ

リアクティブ・ロードは、チューブ・アンプから見て実際のスピーカーのように作用する負荷になります。

本機は、さまざまなチューブ・アンプから最良の音を引き出すために、2種類のリアクティブ・ロードを装備しています。

COMBO

コンボ・アンプ（スピーカー構成が1×12"など）を接続する際の設定です。

STACK

スタック・アンプ（スピーカー構成が4×12"CLOSEDキャビネットなど）を接続する際の設定です。

2 INPUT SIG/PEAK インジケーター

チューブ・アンプから、本機のFROM TUBE AMP端子（P.6）に入力される信号のレベルを表示します。

点灯色	説明
緑	信号が入ると点灯します。
赤	過大な信号レベルです。

3 RIG

専用アプリを使ってエフェクトの設定ができます。その設定をひとまとめにしたものを「RIG」と呼びます。

[RIG] つまみ

本機に保存されているRIG（1～10）の設定を呼び出します。

[WRITE] ボタン

本体で操作したAIR FEELの設定を、RIG（1～10）に保存します。

RIGの保存方法について、詳しくは『RIGを保存する』（P.8）をご覧ください。

4 [AIR FEEL LEVEL] つまみ

LINE OUT端子、PHONES端子、USB端子へ出力する音の響きやアンビエンス感を調整します。

5 [SPEAKER OUT] つまみ

スピーカーの音量を調節します。

6 [LINE OUT] つまみ

LINE OUT L/R端子（P.6）へ出力する音量を調節します。

7 PHONES

[PHONES] つまみ

PHONES端子（P.6）へ出力する音量を調節します。

PHONES 端子

ヘッドホンを接続します。

8 POWER

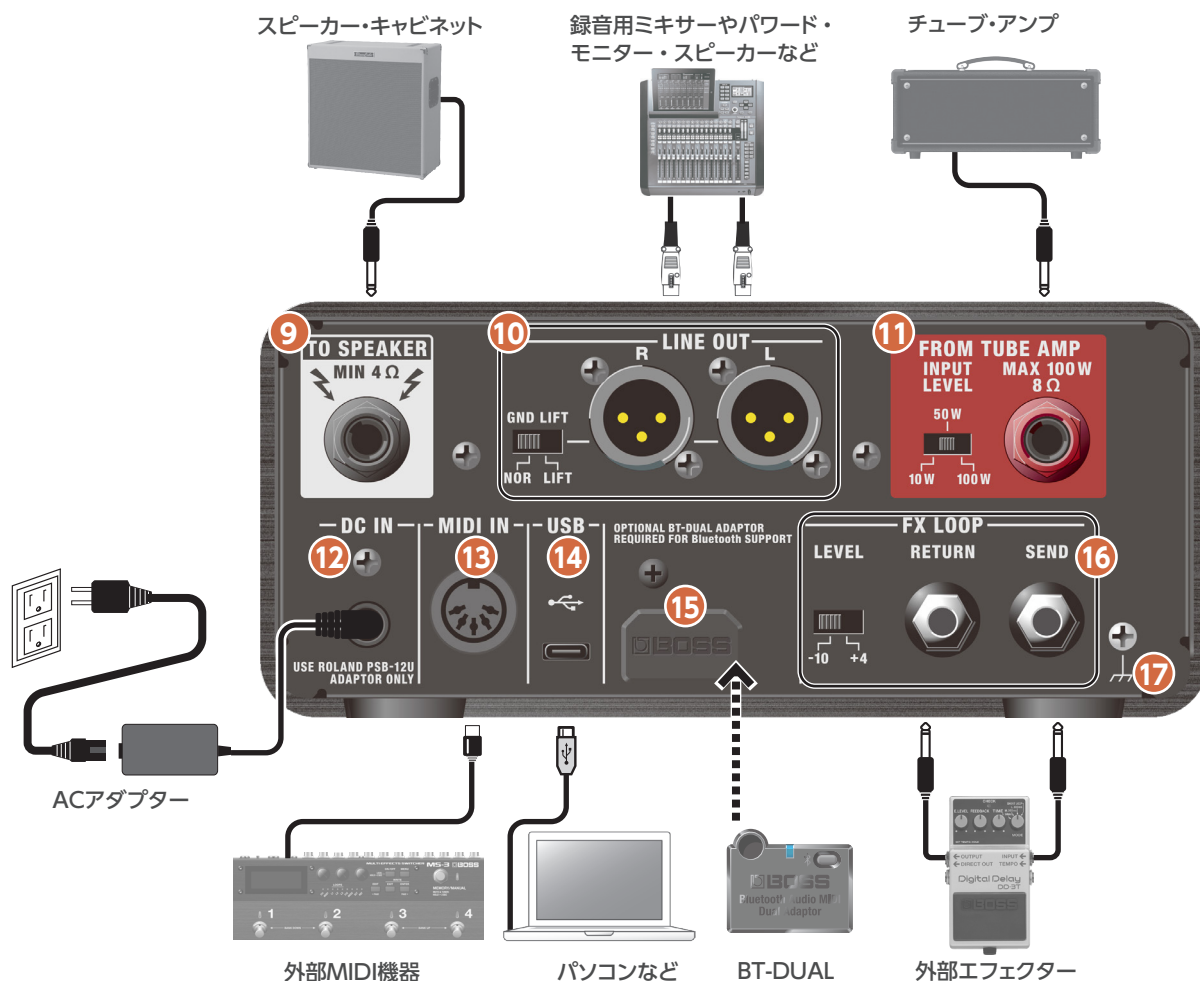
[POWER] スイッチ

本体の電源をオン／オフします。

POWER インジケーター

電源をオンにすると、青点灯します。オーバーヒート・プロテクション（P.4）が作動すると、黄点滅、または赤点滅に変わります。

リア・パネル（機器の接続）



9 TO SPEAKER 端子

インピーダンスが 4 Ω以上のスピーカーを接続します。

- ※ スピーカーを接続する必要がなければ、接続しなくても問題ありません。
- ※ スピーカーとアンプが一体化になったコンボ・アンプの場合は、アンプに接続しているスピーカー・ケーブルをはずして、本機の TO SPEAKER 端子に接続します。スピーカー・ケーブルが本機まで届かない場合は、別途、延長用のスピーカー・ケーブルを用意してください。

10 LINE OUT

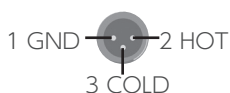
L / R 端子

録音用ミキサーやパワード・モニター・スピーカーに接続します。

[GND LIFT] スイッチ

LINE OUT L / R 端子のグラウンドを本機のグラウンドと接続する／しないを切り替えます。グラウンド・ループなどによるノイズが発生した場合は、スイッチを切り替えます。通常は NOR（ノーマル）に設定しておきます。

- ※ LINE OUT L/R 端子のピン配置



11 FROM TUBE AMP 端子

チューブ・アンプのスピーカー出力を接続します。出力 100W までのチューブ・アンプを接続できます。

チューブ・アンプに複数のスピーカー出力がある場合は、本機のみを接続してください。本機の他にスピーカーも接続すると、チューブ・アンプが故障する可能性があります。

- ※ チューブ・アンプ以外の機器を接続しないでください。本機と接続した機器を故障させる可能性があります。

[INPUT LEVEL] スイッチ

接続するチューブ・アンプの出力 W 数に合わせます。チューブ・アンプが 10W、50W、100W の間の出力の場合、たとえば 20W であれば、10W、50W のどちらかにして音を入力して、フロント・パネルにある INPUT SIG/PEAK インジケーターが赤点灯しないように合わせてください。

12 DC IN 端子

付属の AC アダプターを接続します。

- ※ AC アダプターは必ず付属のもの（PSB-12U）を使用してください。

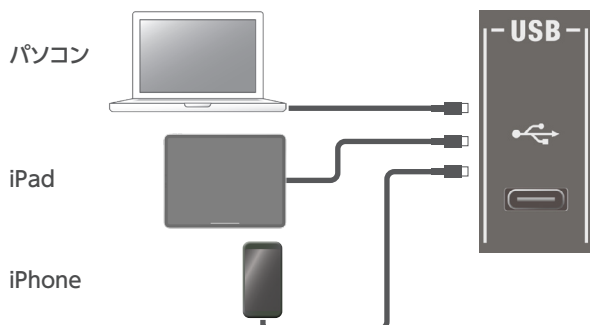
13 MIDI IN 端子

外部 MIDI 機器を接続します。詳しくは『外部 MIDI 機器から本機を操作する』（P.10）をご覧ください。

14 USB 端子 (USB Type-C®)

市販の USB Type-C® ケーブルを使って、本機をパソコンや、iPad、iPhone に接続します。

※ 充電専用の USB ケーブルは使用しないでください。データ通信ができません。



詳しくは『パソコンに接続する』(P.11)、『iPad や iPhone に接続する』(P.11) をご覧ください。

15 Bluetooth® アダプター端子

別売りの Bluetooth® Audio MIDI Dual Adaptor (型番: BT-DUAL) を接続して、ワイヤレスでスマートフォン/タブレットなどのモバイル機器 (以降、「モバイル機器」と表記します) の音楽を再生したり、モバイル機器のアプリからエフェクトをエディットしたりすることができます。

詳しくは『ワイヤレスでモバイル機器と接続する』(P.9) をご覧ください。

16 FX LOOP

[SEND / RETURN] 端子

外部エフェクターを接続します (モノ)。SEND 端子に外部エフェクターのインプットを、RETURN 端子に外部エフェクターのアウトプットを接続します。

[LEVEL] スイッチ

外部エフェクターの基準レベルに合わせて SEND / RETURN 端子の基準レベルを -10dBu または +4dBu に設定します。

LOOP の設定

外部エフェクターを接続したときにシリーズ接続するか、パラレル接続するかを設定します。

専用アプリから設定します。本体からは操作できません。

設定値	説明
PARALLEL (初期値)	外部エフェクト音とダイレクト音がミックスされます。
SERIES	外部エフェクト音のみになります。

17 接地端子

外部アースまたは大地に接地します。ハム・ノイズが発生するときなど、必要に応じて接続してください。

電源を入れる

※ 正しく接続したら (P.6)、必ず次の手順で電源を入れてください。手順を間違えると、誤動作をしたり故障したりすることがあります。

1. 本機の SPEAKER OUT、LINE OUT、PHONES のつまみと本機に接続されている機器の音量が、「0」になっていることを確認します。
2. 本機の電源を入れます。
3. チューブ・アンプの電源を入れます。
4. その他の接続されている機器の電源を入れます。

電源を切るときは、接続している他の機器の音量を絞ってから、電源を入れるときと反対の手順で電源を切ります。

※ 電源を入れる／切るときは、音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。

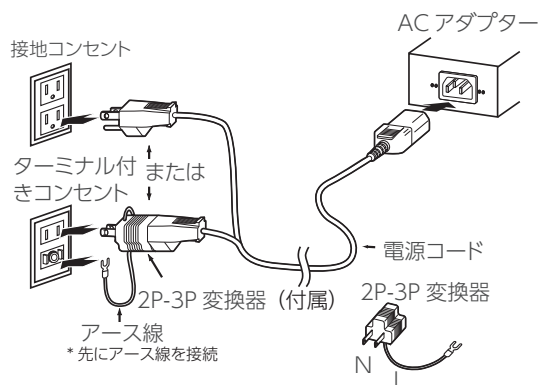
※ 完全に電源を切る必要があるときは、本機の電源スイッチを切ったあと、コンセントからプラグを抜いてください。

電源コードの接続



感電を防ぐために付属の電源コードを使用し、アースを確実に取り付けてください。

付属の電源コードには、感電と機器の損傷を防ぐためにアース用電極端子を加えた 3 端子のプラグがついています。



- **コンセントが接地コンセント (端子穴が 3 個) の場合**
そのままコンセントにプラグを差し込んでください。
- **コンセントがアースターミナル付きコンセント (端子穴が 2 個) の場合**
プラグに 2P-3P 変換器を付け、アース接続後コンセントに差し込みます。



警告: アースは必ず、電源プラグをコンセントに差し込む前に接続してください。また、アースをはずすときは必ず、先に電源プラグをコンセントから抜いてください。

※ コンセントにアース端子がない場合は、電気工事に接地工事を依頼してください。

RIG を保存する

本体の操作や専用アプリで変更したエフェクトの設定を、RIG1 ～ 10 に保存することができます。

1. [WRITE] ボタンを押します。

[WRITE] ボタンが緑点滅すると、RIG が選べる状態になります。

2. [RIG] つまみを回して保存したい RIG (1 ～ 10) を選びます。

※ キャンセルするときは [WRITE] ボタンを押します。

3. [WRITE] ボタンを 2 秒以上押します。

[WRITE] ボタンが赤点滅して保存されます。

※ RIG に保存すると上書きされます。工場出荷時の設定も上書きされます。

※ 専用アプリを使って、さらに細かな設定の編集や RIG のライブラリーの管理をすることができます。詳しくは『パソコンに接続する』(P.11) をご覧ください。

※ 工場出荷時の RIG リストについては、『WAZA Tube Amp Expander Core エディターの使いかた』(Web) をご覧ください。

工場出荷時の設定に戻す

本体に記憶した設定を、工場出荷時の設定に戻します (ファクトリー・リセット)。

1. 本機の電源を切ります。

2. [REACTIVE LOAD] つまみを COMBO にします。

3. [RIG] つまみを 9 にします。

4. [WRITE] ボタンを押しながら電源を入れます。

[WRITE] ボタンが赤点滅します。

※ 操作をキャンセルするときは電源を切ってください。

5. [WRITE] ボタンを押します。

ファクトリー・リセットが実行されます。

- ファクトリー・リセット中は SIG/PEAK インジケーターが赤点滅します
- ファクトリー・リセットを実行中は、電源を切らないでください。
- ファクトリー・リセットが完了すると、SIG/PEAK インジケーターが緑点灯します。

6. 本機の電源を入れ直します。

すべての設定が工場出荷時の状態に戻ります。

ワイヤレスでモバイル機器と接続する

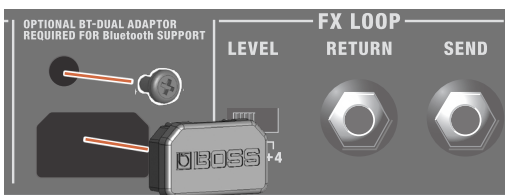
WAZA Tube Amp Expander Core に別売りの **Bluetooth®** Audio MIDI Dual Adaptor (型番:BT-DUAL) を取り付けることで、ワイヤレスでモバイル機器の音楽を再生したり、モバイル機器のアプリからエフェクトをエディットしたりすることができます。

WAZA Tube Amp Expander Core 自体には、Bluetooth 機能は搭載されていません。別売りの BT-DUAL を取り付けることで、Bluetooth 機能を使用することができます。

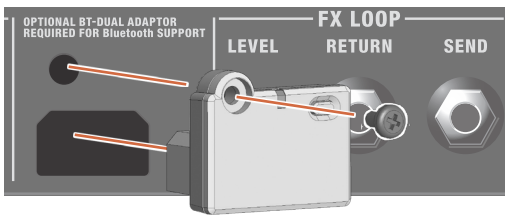
BT-DUAL を取り付ける

Bluetooth® アダプター端子に BT-DUAL を取り付けます。

1. 本機の電源を切って、AC アダプターをコンセントから抜きます。
2. リア・パネルの、**Bluetooth®** アダプター端子の BT-DUAL COVER とネジをはずします。



3. BT-DUAL を取り付け、手順 2 ではずしたネジで固定します。



注意

- 必ず **Bluetooth®** アダプター端子にあるネジを使ってください。他のネジを使うと故障の原因になります。
- 回路部や端子部には手を触れないでください。
- 取り付けを終えたら、正しく取り付けられていることを再度確認してください。

モバイル機器とワイヤレスで接続して音を聞く

Bluetooth® オーディオ機能

Bluetooth オーディオ機能をもったモバイル機器で再生した音楽やミュージック・ビデオを、本機の PHONES 端子や、LINE OUT 端子に接続した機器で聞くことができます。

モバイル機器を登録する (ペアリング)

「ペアリング」とは、使いたいモバイル機器を本機に登録する (お互いに認証する) ための手続きです。

モバイル機器で再生した音楽データを、ワイヤレスで本機から聞くための設定をします。

メモ

操作説明は iPhone を使った場合の一例です。詳しくは、モバイル機器の取扱説明書をご覧ください。

1. 本機の電源を入れます。
2. 接続したいモバイル機器をアンプ周辺に置きます。
3. Bluetooth インジケータが高速点滅するまで、BT-DUAL のペアリング・ボタンを長押しします。

Bluetooth インジケータ



4. モバイル機器の Bluetooth 機能をオンにします。



5. モバイル機器の Bluetooth デバイス画面に表示されている「WAZA TAE Core Audio」をタップします。

BT-DUAL とモバイル機器がペアリングされます。ペアリングが成功すると、モバイル機器の「ペアリングされた機器」リストに「WAZA TAE Core Audio」が追加されます。

※ 一定時間ペアリングを実行しないと、Bluetooth インジケータが消灯し、ペアリング待機状態が解除されます。

ペアリング済みのモバイル機器を接続する

1. BT-DUAL の Bluetooth インジケーターがオフのとき、ペアリング・ボタンを押します。
2. モバイル機器の Bluetooth 機能をオンにします。



メモ

- 上記の操作で接続ができなかった場合は、モバイル機器の Bluetooth デバイス画面に表示されている「WAZA TAE Core Audio」をタップしてください。
- 切断するときは、BT-DUAL のペアリング・ボタンを押して Bluetooth インジケーターを消灯させるか、モバイル機器の Bluetooth 機能をオフにします。

Bluetooth オーディオの音量を調節する

1. モバイル機器で音量を調節します。
Bluetooth オーディオの音量を調節します。
2. 本機の [PHONES] つまみ、または [LINE OUT] つまみを回します。

[PHONES] つまみと [LINE OUT] つまみは、Bluetooth オーディオ、USB 端子に接続している機器の音量を兼用しています。

[PHONES] つまみと [LINE OUT] つまみを回すと、Bluetooth オーディオの音量が変わるだけでなく、各端子に接続している機器の音量も変わります。

外部 MIDI 機器から本機を操作する

本機では、MIDI を使って以下のことができます。

- RIG ナンバーの切り替え
外部 MIDI 機器からのプログラム・チェンジ情報を受信すると、本機の RIG が切り替わります。
- コントロール・チェンジ情報の受信
コントロール・チェンジ情報を受信して、指定したパラメーターを演奏中にコントロールすることができます。

Bluetooth 機能を無効にする

BT-DUAL とモバイル機器の Bluetooth 接続を切ります。

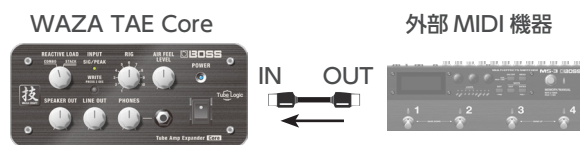
1. BT-DUAL のペアリング・ボタンを押します。
Bluetooth インジケーターは消灯します。

モバイル機器用アプリから本機を操作する

モバイル機器用の WAZA Tube Amp Expander Core エディターの詳細については、ボスのホームページをご覧ください。

<https://www.boss.info/jp/>

接続例



MIDI の設定方法について、詳しくは「WAZA Tube Amp Expander Core エディターの使いかた」(Web) をご覧ください。

パソコンに接続する

本機を USB 経由でパソコンと接続すると、以下のことができます。

- パソコンとの間で、デジタル・オーディオ信号を送受信できます。
- 専用アプリ「WAZA Tube Amp Expander Core エディター」を使うことができます。

USB ドライバーのインストール

パソコンに接続するには、USB ドライバーをインストールする必要があります。

USB ドライバーは、ボスのホームページからダウンロードしてください。

USB 接続をする前に、専用ドライバーをインストールしてください。詳しくは、ダウンロードしたファイルにある Readme.htm をお読みください。

<https://www.boss.info/jp/support/>

ドライバーは、ご使用の環境によってインストールするプログラムや手順が異なりますので、ダウンロードしたファイルにある Readme.htm をよく読んでうえでお使いください。

本機の設定

本機の USB 設定を、専用 USB ドライバーに設定します。

1. **本機の電源を切ります。**
2. **[REACTIVE LOAD] つまみを COMBO に、[RIG] つまみを 2 にします。**
3. **[WRITE] ボタンを押しながら電源を入れます。**
SIG/PEAK インジケーターが緑点灯すれば、設定完了です。
4. **電源を入れ直します。**

オーディオ・インターフェースとして使う

本機をオーディオ・インターフェースとして使うと、以下のことができます。

- 本機の音をパソコンに録音できます。
- パソコンの音を本機の LINE OUT 端子と PHONES 端子から出力できます。
- ※ USB 接続時のオーディオ信号の流れと設定方法について、詳しくは「WAZA Tube Amp Expander Core エディターの使いかた」(Web) をご覧ください。
- ※ 各ソフトウェアの入力元の切り替えかたは、お使いのソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

パソコン用アプリから本機を操作する

パソコン用専用アプリ「WAZA Tube Amp Expander Core エディター」では、以下のことができます。

- RIG の設定を編集できます。
- RIG に名前を付けることができます。
- RIG の順番を並べ替えたり、入れ替えたりすることができます。
- RIG と本体の設定をバックアップしたり、バックアップした設定に戻したりすることができます。
- 最大 64 個の IR データを本機に取り込むことができます。
- WAZA Tube Amp Expander Core 取扱説明書のダウンロード・ページを表示することができます。

パソコン用の WAZA Tube Amp Expander Core エディターは、ボスのホームページ (<https://www.boss.info/jp/support/>) よりダウンロードすることができます。

iPad や iPhone に接続する

本機を USB 経由で iPad や iPhone と接続すると、iPad や iPhone との間でデジタル・オーディオ信号を送受信することができます。

OS 標準の USB ドライバーを使用しますので、専用ドライバーのインストールは不要です。

本機の設定

本機の USB 設定を、OS 標準ドライバーに設定します。

1. **本機の電源を切ります。**
2. **[REACTIVE LOAD] つまみを COMBO に、[RIG] つまみを 1 にします。**
3. **[WRITE] ボタンを押しながら電源を入れます。**
SIG/PEAK インジケーターが緑点灯すれば、設定完了です。
4. **電源を入れ直します。**

オーディオ・インターフェースとして使う

本機をオーディオ・インターフェースとして使うと、以下のことができます。

- 本機の音を iPad や iPhone に録音できます。
- iPad や iPhone の音を本機の LINE OUT 端子と PHONES 端子から出力できます。

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

主な仕様

許容入力	FROM TUBE AMP : 100W
保護抵抗 (電源オフ時)	FROM TUBE AMP : 330 Ω
定格出力	TO SPEAKER : 30W (8 Ω)
負荷インピーダンス	TO SPEAKER : 4 ~ 16 Ω
入力インピーダンス	FROM TUBE AMP : 8 Ω FX LOOP RETURN : 1M Ω
出力インピーダンス	LINE OUT L / R : 600 Ω FX LOOP SEND : 1k Ω
規定出力レベル	LINE OUT L / R : +4dBu
FX LOOP 規定入出力 レベル	-10 / +4dBu 切り替え
最大出力レベル	LINE OUT L / R : +13dBu FX LOOP SEND : +6dBu (-10) / +20dBu (+4)
コントロール	POWER スイッチ SPEAKER OUT つまみ LINE OUT つまみ PHONES つまみ REACTIVE LOAD つまみ RIG つまみ AIR FEEL LEVEL つまみ WRITE ボタン INPUT LEVEL スイッチ FX LOOP LEVEL スイッチ GND LIFT スイッチ
インジケーター	POWER WRITE INPUT SIG/PEAK
接続端子	FROM TUBE AMP 端子 : 標準タイプ TO SPEAKER 端子 : 標準タイプ LINE OUT L / R 端子 : XLR タイプ PHONES 端子 : ステレオ標準タイプ FX LOOP SEND 端子 : 標準タイプ FX LOOP RETURN 端子 : 標準タイプ USB 端子 : USB Type-C® MIDI IN 端子 Bluetooth® アダプター端子 : 専用端子 DC IN 端子

電源	AC アダプター
消費電流	470mA
外形寸法 ※ ゴム足含む	200 (幅) × 202 (奥行) × 99 (高さ) mm
質量	2.2kg
付属品	取扱説明書 AC アダプター 電源コード 2P-3P 変換器 保証書
別売品	接続ケーブル : Roland RIC-G3、Roland RIC-B3、 Roland MSC-15 / 25 / 50、BOSS BIC-10 / 20、 BOSS BSC-3 Bluetooth® Audio MIDI Dual Adaptor (型番 : BT-DUAL) ワイヤレス MIDI エクスプレッション・ペダル : EV-1-WL ワイヤレス・フットスイッチ : FS-1-WL

※ 0dBu = 0.775Vrms

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

お問い合わせの窓口



ホームページをご覧ください

Roland製品

電子楽器製品 (電子ピアノ、電子ドラム、シンセサイザーなど)

https://roland.cm/roland_support



プロAV製品 (ビデオ・ミキサー、業務用映像音響機器など)

https://roland.cm/proav_support



BOSS製品

https://roland.cm/boss_support



01

ローランド株式会社

〒431-1304 静岡県浜松市浜名区細江町中川 2036-1